

社会学研究科における学位論文評価基準について

四国学院大学大学院学位規程の定めにより提出された学位論文は、以下の体制・基準に従って審査する。

1 審査体制及び方法

主査・副査を含め 3 名以上で構成する審査委員会が、学位論文の審査及び最終試験を行う。最終試験は、学位論文審査に合格した者について、当該学位論文を中心として、関連ある科目又は専門分野等について、口述又は筆記により行う。

2 審査項目・基準

1. 構成 (organization)

テーマが体系的に構成されているか。

2. 論理 (logic)

論旨が論理的に一貫性をもって展開されているか。

3. 議論 (argument)

異なる主張や学説と対論の中で、明確に結論が導き出されているか。

4. 実証 (evidence)

調査・研究等によって実証的に裏付けられ、十分に論証されているか。

5. 主張 (originality)

論文に独自性を含み、読者を納得させる形で主張されているか。

口述試験 (Oral Examination) の審査項目

(1) 口頭発表 (Oral Presentation)

1 内容 (Contents)

2 明晰性 (Clarity)

3 一貫性 (Coherence)

4 伝達性 (Communicativeness)

(2) 質疑応答 (Questions and Answers)

1 相互性 (Interaction)

2 処理力 (Management)

3 満たすべき水準

上記の項目及び基準を全て満たす場合、修士論文として合格とする。

文学研究科における学位論文評価基準について

四国学院大学大学院学位規程の定めにより提出された学位論文は、以下の体制・基準に従って審査する。

1 審査体制及び方法

主査・副査を含め 3 名以上で構成する審査委員会が、学位論文の審査及び最終試験を行う。最終試験は、学位論文審査に合格した者について、当該学位論文を中心として、関連ある科目又は専門分野等について、口述又は筆記により行う。

2 審査項目・基準

1. 構成 (organization)

絞り込んだテーマがきちんとした輪郭をもって構成されているか。

2. 論理 (logic)

段落、各章、全体が論理的・一貫性のもとに展開されているか。

3. 議論 (argument)

自分の主張したい点は掘り下げられ、結論は明確か。

4. 実証 (evidence)

裏付け、実証性はあるか。自分の論点を実地研究や引用等で十分に support しているか。

5. 主張 (originality)

論文全体の方向がその中に独自性を含み、読者を納得させる形で主張されているか。

3 満たすべき水準

上記の項目及び基準を全て満たす場合、修士論文として合格とする。

社会福祉学研究科における学位論文評価基準について

四国学院大学大学院学位規程の定めにより提出された学位論文は、以下の体制・基準に従って審査する。

1 審査体制及び方法

主査・副査を含め 3 名以上で構成する審査委員会が、学位論文の審査及び最終試験を行う。最終試験は、学位論文審査に合格した者について、当該学位論文を中心として、関連ある科目又は専門分野等について、口述又は筆記により行う。

2 審査項目・基準

1. 修士論文（研究計画）第 1 次審査会において主査が、以下の項目について審査する。
 - ・発表態度が適切であるか。
 - ・修士論文研究の目的・背景・これまでの成果について正しく理解しているか。
 - ・以降の研究計画について具体的に表示できたか。
2. 修士論文第 2 次審査会において、主査、第 1 副査、第 2 副査が査読および試問を行い、以下の項目について審査する。
 - ・研究の目的や意義は明確であるか。
 - ・研究に至るまでの過程を理解しているか。
 - ・限られた時間内に適切に伝え、結果を分かりやすく論理的に表示できたか。
 - ・結果に対する考察を論理的かつ明確に表明できたか。
 - ・試問（質問）に対して誠実かつ適切に応答できたか。

3 満たすべき水準

上記の項目及び基準を全て満たす場合、修士論文として合格とする。